

魚取沼のテツギョ生息地

所在地 宮城県加美郡加美町田代岳・漆沢岳

指 定 国指定天然記念物 昭和8年4月3日

概 要

魚取沼には、イワナなどの魚類と共にテツギョが群をなして生息しています。このテツギョは、鱗が長く特に尾鱗の長いのが特徴ですが、鮡型に近いものもあり変異が激しいです。鉄色か鉄錆色で、その泳ぐさまはたいへん美しいです。

原因についてはフナの突然変異、あるいはフナとキングョの交配と考えられていましたが、近年の遺伝学的調査により、フナの突然変異種であることが判明しました。

テツギョは全国の川や池でもごくまれに見られますが、魚取沼のように群れをなしている例はきわめて珍しく、学術的にもたいへん貴重な存在とされています。ブナの原生林に囲まれた面積約3.3haの魚取沼の周縁は、サワグルミ・ヤチダモの湿生林で囲まれ、ヨシ群落からマコモ・ミツガシワ群落が帯状に分布していて、テツギョはこうした良好な自然環境に育まれて、群生するまでに生育してきたものと考えられます。

